

NPO法人 飛騨市障がいのある人を支える会



障がいのある人もない人も安心して
暮らせるまちづくりをめざして
障がい福祉から発信するまちづくり

**飛騨市障がいの
ある人を支える会
も10年たちました**



NPO法人

飛驒市障がいのある人を支える会

飛驒市発達支援センター
設置要望↓設置

飛驒市議会へ請願書提出
知事へ飛驒市に特別支援
学校設置要望↓設置

市民参加によるベルマー
ク運動の推進く飛驒吉
城特別支援学校応援事
業&市民に広く支援学
校を周知応援する

福祉サービス事業所ピ
ース開設

アルミ缶回収による障が
い者支援(障がい者の仕
事づくり)

エコキャップ運動の推進

障がいのある人もない人も安心して暮らせる
まちづくりをめざして ～支える会の取組み～

1 子どもから高齢者まですべての人が生まれ育ったまちで共に暮らす「共生社会」の実現をめざします

2 障がいのある人が社会の一員として地域で生活し、地域に貢献できるよう支援します

3 障がいのある人が一生涯にわたって途切れのない地域生活の支援体制を推進します

1. 障がい福祉サービス事業の実施

- ・ 日中一時支援事業「ピース」の運営
- ※児童から成人まで、
身体、知的、精神、発達
障がい等すべての
障がい児者を対象



2. 障がい等の相談・地域交流・余暇支援事業

- ・ 随時対応、保護者相談
- ・ 療育相談会、座談会
- ・ 自発的活動支援事業
- ・ ピアサポート事業



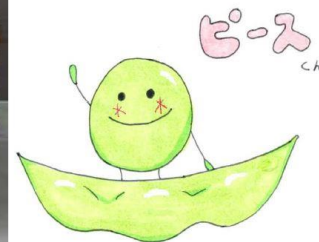
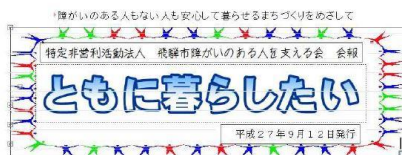
3. 就労支援事業

- ・ 神岡町公衆トイレ清掃請負事業
- ・ 特別支援学校高等部の現場実習受け入れ
- ・ ブレス宅配 ・ 薬草採取受託 ・ 農福連携



4. 地域福祉向上のための啓発事業

- ・ 会報「ともに暮らしたい」発行
- ・ ベルマーク運動 → 飛騨吉城特別支援学校へ寄付
- ・ 講演会、研修会の開催
- ・ 各種イベントの参加
- ・ アルミ缶&エコキャップ回収

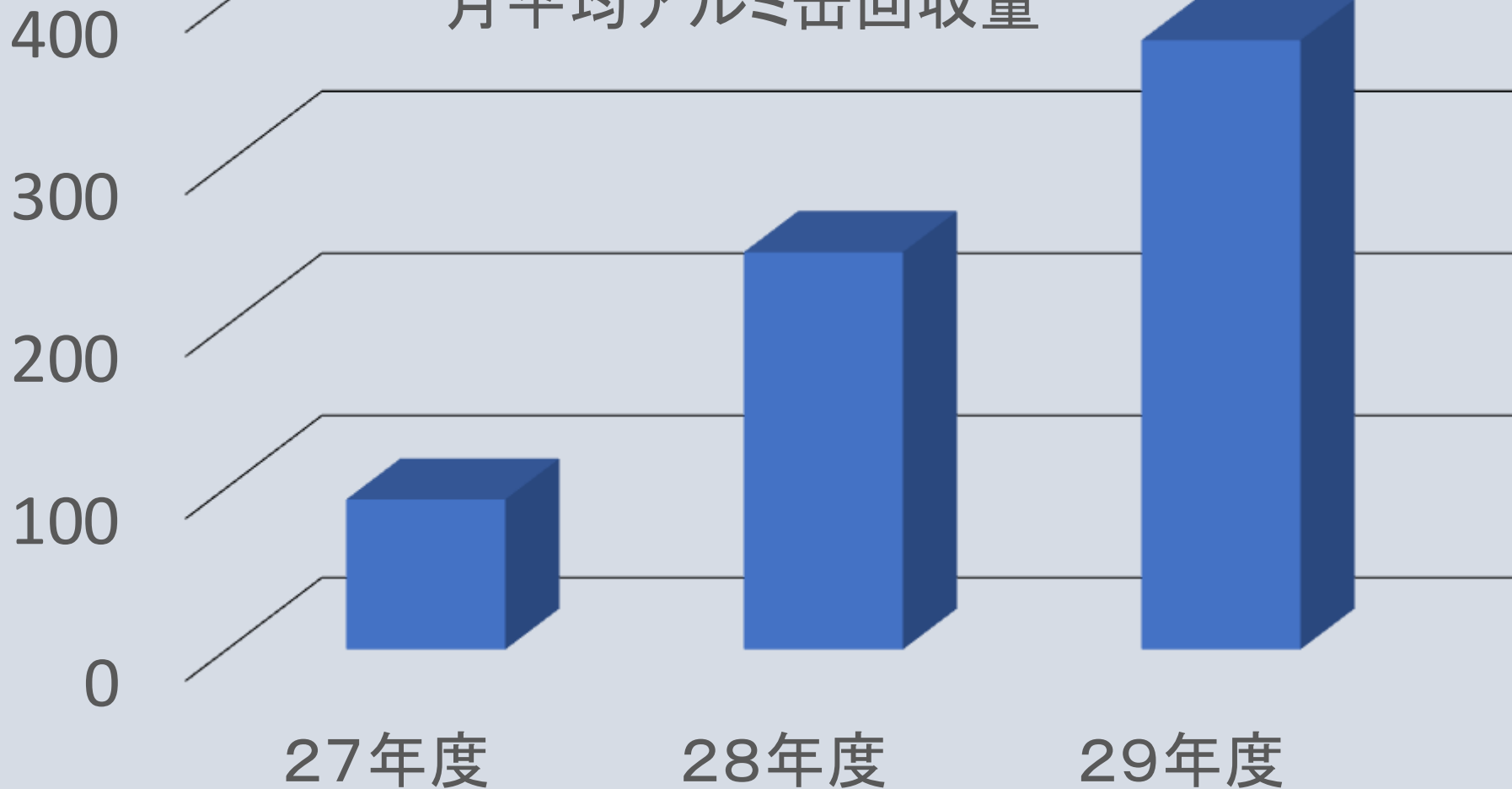


支える会の主な取り組み

- アルミ缶エコキャップ回収事業
- 次世代の担う子どもたちへの福祉教育の推進事業
- ピアサポート事業
- 福祉サービス事業「ピース」

支える会の活動

月平均アルミ缶回収量

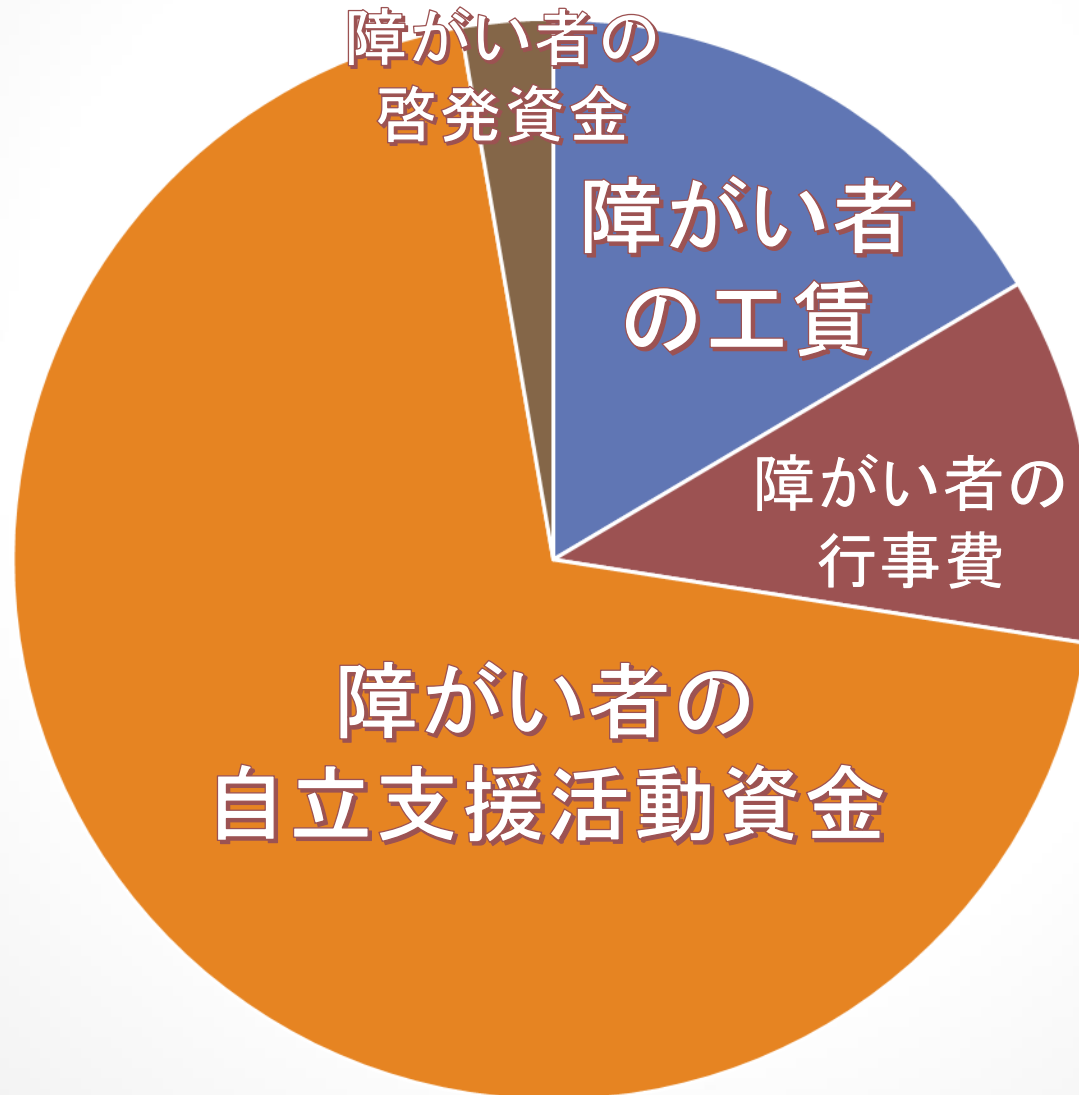


- 平成28年9月～地域・学校へアルミ缶回収ボックス設置の呼びかけ以降は回収量も増えてきました
- 年度は、4月から翌年3月で計算しています



アルミ缶収益の使い道

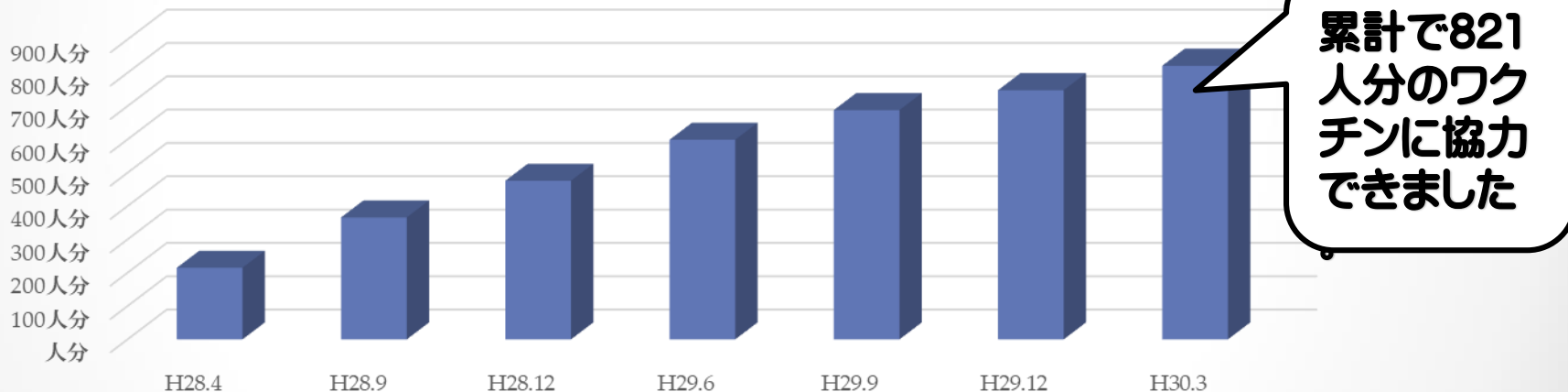
→すべて障がい者支援に使用します



支える会の活動

エコキャップ回収実績

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
搬出日	H28.4	H28.9	H28.12	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3
個数	171,920個	121,040個	87,760個	195,920個	142,800個	95,600個	117,280個
重量	430kg	303kg	219kg	490kg	357kg	239kg	293kg
ワクチン換算	215人分	151人分	110人分	123人分	89人分	60人分	73人分
累計	215人分	366人分	476人分	599人分	688人分	748人分	821人分



ペットボトルキャップの回収業務は収益の出る活動ではありません。しかし、捨てられる廃棄物を回収することで多くの人へのワクチン接種に協力ができる、人の役に立つ、社会に貢献できる活動として今後も継続して参りますのでご協力お願いします。



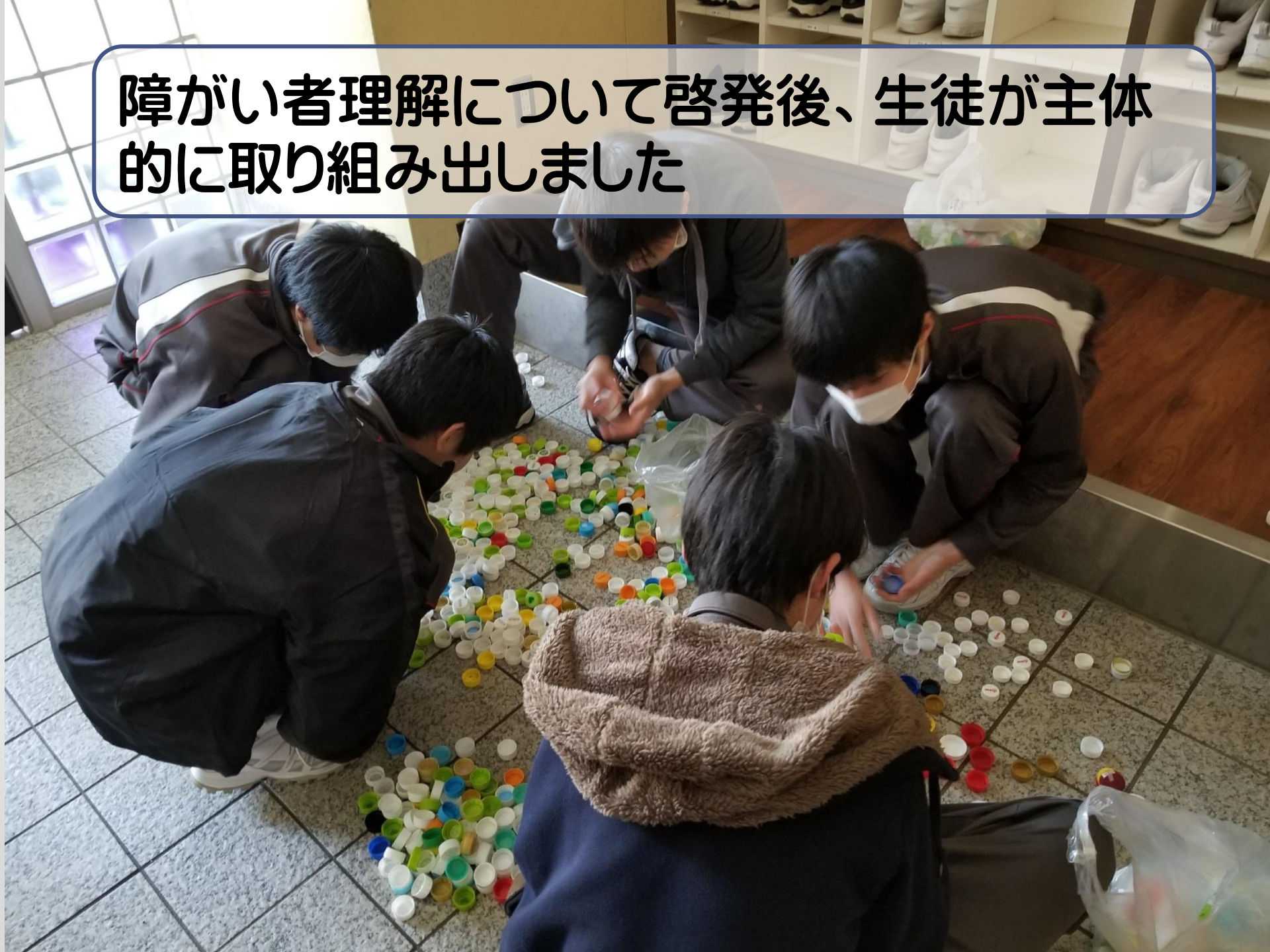
支える会の活動

学校との連携

対 象：飛騨市内小中学校（H29年度実施：小学校3校、中学校2校）
実施内容：①講話（障がい者支援、ピースの様子、アルミ缶・エコキャップ回収について）
②アルミ缶設置場所（設置された方の思いを聞く）を回るオリエンテーリング



障がい者理解について啓発後、生徒が主体的に取り組み出しました



実施後の生徒の感想

障がい者の方は、私たちが学校でやっていることと同じようにキップやヘルメット、アルミ缶を集めていてそれを仕事としてがんばっているのがすごいと思いました。私は、障がい者の方を見かけるとどのようによければいいかわからず、さけてしまったり、変な目で見てしまうことがありました。障がい者の方は普通の人とは違うんだと自分を追いこんでしまったり、嫌な思いをすることが多いので、奈木さんが話されていたように自分だけが感じ方を変えようとするのではなく、無理やり関わろうとせず、あたたかい目で見守ることや、もし交流する機会があれば優しく寄り添うことを大切にしたいです。

ピアサポート事業

障がいや発達に心配のある親同士で、親でしかわかりえない悩みや不安、体験談や情報を共有して前向きに子育てができる交流の場 「なかましてらこや」

- ・ 定例会月1回、
- ・ 夏休み親子活動
- ・ 講演会開催
- ・ 外部講師を招き学習会


テーマ
子どもに寄り添う支援
～保護者 学校 支援者との関係づくり～
大塚女子短期大学 幼児教育科 学科長
松村 齋 教授

日時
平成30年7月15日(日)
午前10時～11時30分

場所 ハートピア古川 2階集会室
古川町石宮2丁目1-60 古川町総合保健福祉センター

参加無料 どなたでも参加できます
お問い合わせ 090-4227-3610 奈木

なかましてらこや・なかてら工房
NPO法人 鹿野市障がいのある人を守る会
鹿野市発達支援センター 鹿野市教育委員会





福祉サービス事業所 「ピース」の取り組み



◇利用者、利用状況

ピース契約(登録)者 24人
(成人20人、児童4人)

年間利用者数 のべ1,891人

定期利用者(月1回以上の利用者)は21人

8.11人

9

7

5

5.04人

6.88人

27年度

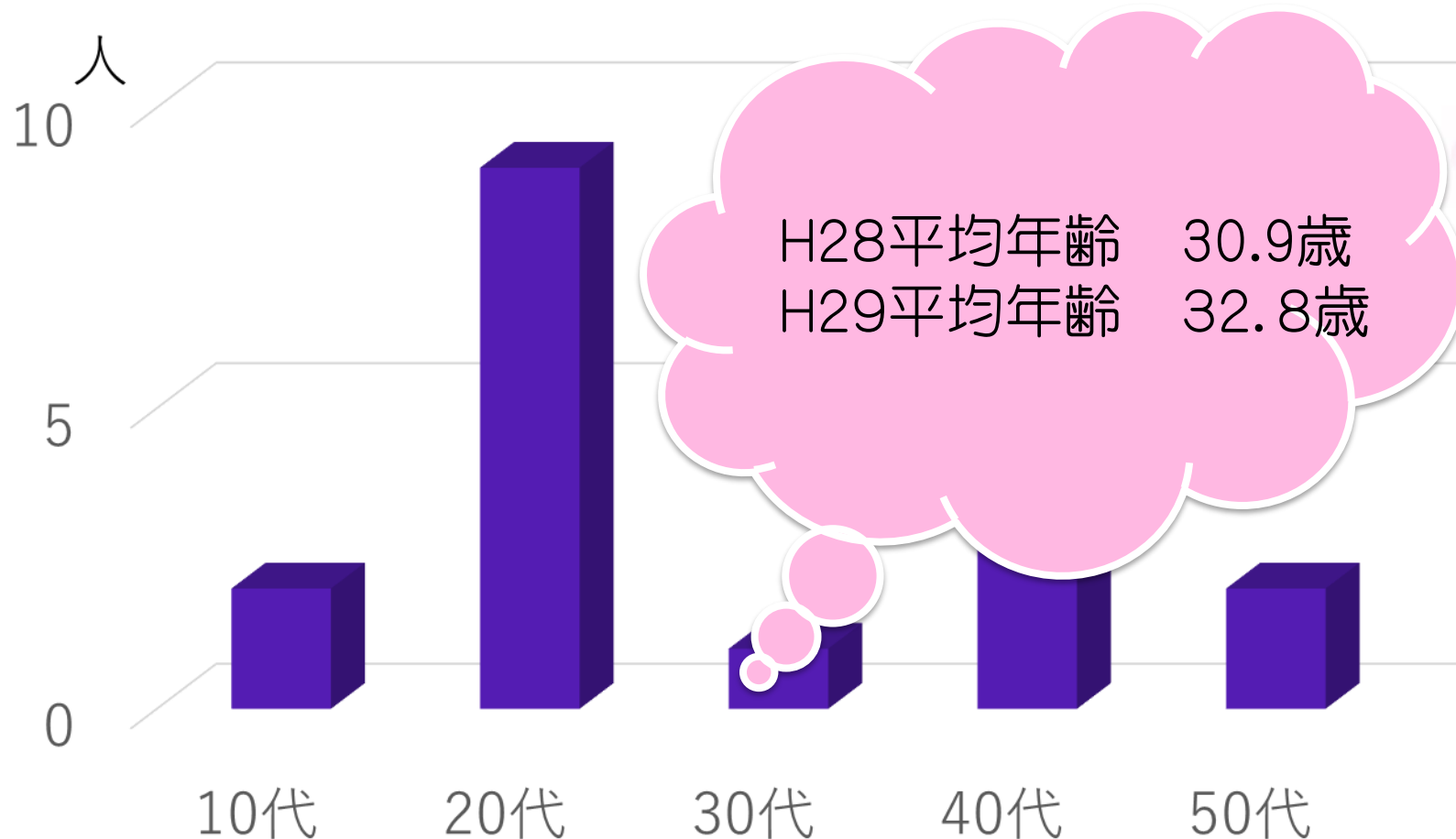
28年度

29年度

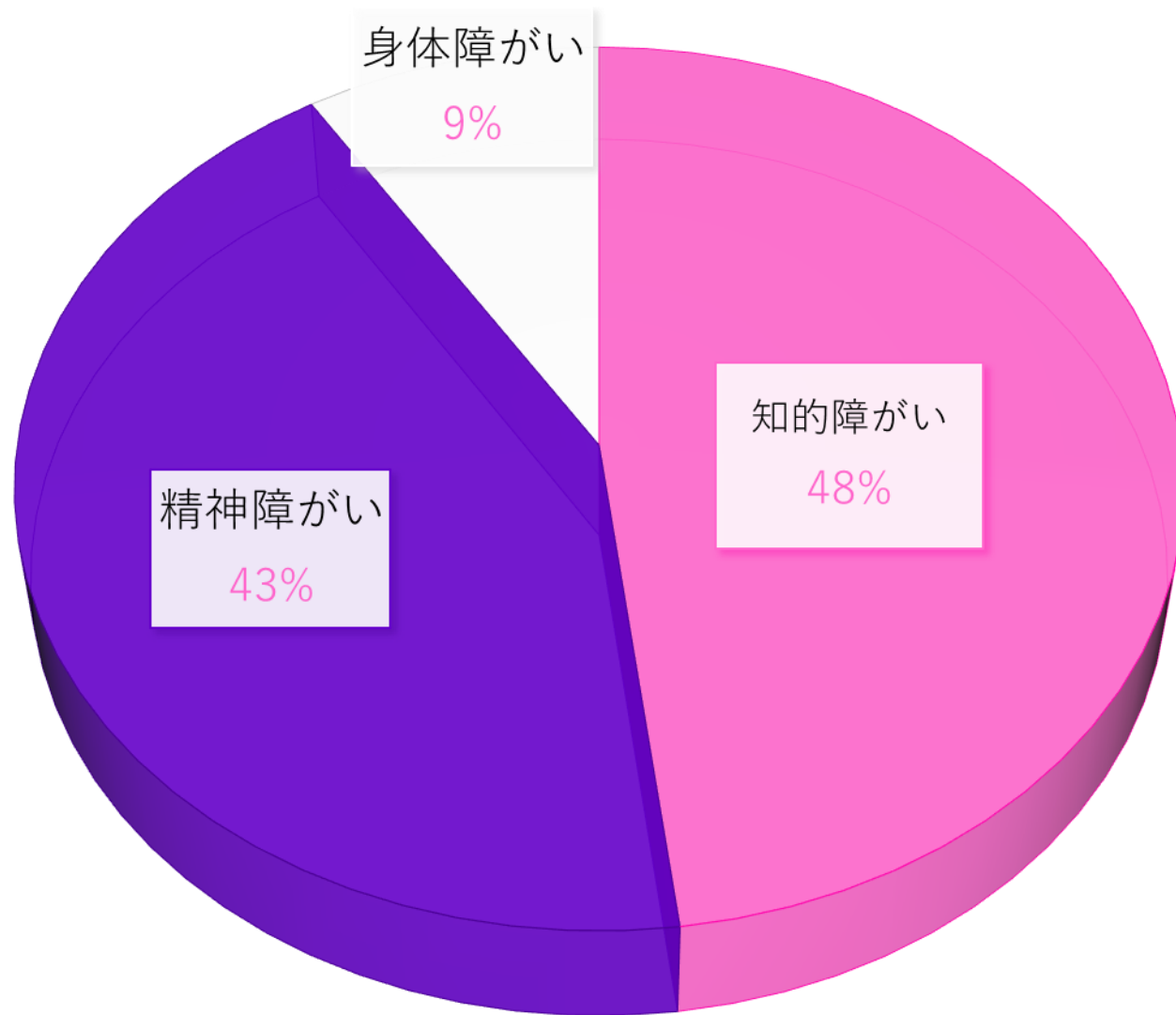
* 年度は、4月～翌年3月、利用者数は、月平均人数

利用者の年齢層(成人区分)

利用者の年齢層



障がい種別（月1回以上の利用者）



ピースの活動

ピースの事業 日中一時支援事業

日中一時支援

居心地のよい環境の中で余暇を中心に多様な過ごし方をしながら自分の居場所を作ります

就労への支援

作業を通じて自己肯定感を高めたり、継続して働くことの大切さを学んだりしながら、働くことへの意欲を育てていきます

生活の支援

その人の能力に合わせた身辺自立、コミュニケーション能力、自己選択、自己決定ができるような支援を寄り添って行います

日中一時支援事業

就労継続支援 B型

生活介護

日中一時支援事業

- 創造的活動
(ピアノ演奏、カラオケ、折り紙、塗り絵、貼り絵、模型作り等)
- おやつ作り
- 体力作り(散歩、ストレッチ等体力に合わせた運動)



就労支援

- ・アルミ缶の回収やつぶし作業
- ・エコキャップ作業
- ・船津座トイレ掃除
- ・製品のシール貼り
- ・薬草採取選別
- ・封筒づくり
- ・農作業・野菜作り
- ・ブレス配り
- ・スタンプ押し



私たちも働いています

—僕たちも地域の一員として頑張りたい—

★井之廣製菓舗様には障がい者支援を行っていただいています

NPO法人 飛騨市障がいのある人を支える会
福祉サービス事業所『ピース』
飛騨市神岡町山田 ☎ 0578-82-1559



生活の支援

- 規則正しい生活リズム定着（自分でスケジュールを立てる）
- 健康管理（毎日の健康チェック、保健師さんによる健康教室、住民健診を受ける）
- 食事を作る支援 • 食事の準備後片付け支援
- 掃除（自分の身の回りの片づけ）
- 買い物 • 通院 • 金銭管理（出納簿をつける）
- マナー講座（挨拶、電話の掛け方、人との距離感、清潔保持等）



展 望 新 しい 施 設 で



より多くの方に自分に合った過ごし方を
していただくために

新施設では多機能型としてサービスの充実を図っていきます



関係機関、福祉サービス事業所と連携を取り
一人ひとりの人生、人格、意志を大切にしながら
その人の発達に合わせた自立をめざしていきます
介護者の高齢化、親亡き後も、その人らしく生まれ育った
飛騨市で安心して暮らせるよう支援をしていきます

地域住民の方にとっても拠り所となるような場所



ピースが地域の福祉拠点として、子どもから高齢者まですべての人が共に暮らす「共生社会」実現に向けた取り組みを推進



障がいがある人もない人も、同じ人間として一人ひとりが大切にされ、安心して暮らせるまち飛騨市をめざして



「支える会」の活動の目的に賛同してくださる方
一緒に障がいのある人を支えてくださる方

会 員 募 集 中!

正会員 3,000円

賛助会員 10 1,000円

誰でも いつでも ご入会いただけます

御清聴ありがとうございました

